

11月度新入会員さんのご紹介

県央海浜支部



齋藤 督識さん
北関東外装（同）
代表

県央海浜支部



久保木 祐介さん
（株）スリーケイデザイン
代表取締役

南西支部



塚本 忍さん
（株）大三
取締役副社長

南西支部



羽田 竜也さん
社会福祉士・
行政書士
羽田達也事務所
代表

ドラゴン支部



山崎 徹さん
（株）ブームス
代表取締役社長

会員は辞書の1ページ！

12月理事会承認時点
会員数
312名

No.270号 2018年12月31日

DOYU IBARAKI



発行：茨城県中小企業家同友会
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階
Tel:029-243-8230
Fax:029-243-7225
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

第19期経営指針成文化セミナー第7・8講



15日 前半 数字について
15日 後半 指針書作成
16日 前半 指針書発表
16日 後半 指針書修正

経営指針委員会では11月15日（木）から16日（金）にかけ、筑波山江戸屋さんにて今期2度目のセミナー合宿を行いました。今回の合宿（二日間）では経営指針書を作り上げることを目標に一日目の前半は中期の経営計画をたてるうえで重要な数字についての講座が行われ、その後はこれまでの考え方を取りまとめ経営指針書として作り上げていく作業を行いました。



続く二日目は経営指針がなぜ必要かを改めて確認し、一日目にまとめあげた経営指針書の内容について発表を行いました。作業の進捗に個人差はありますが、寝ずに頑張る受講生や講師、そして指針づくりに携わる委員会メンバーの踏ん張りは紆余曲折を繰り返しながらも前進し、経営指針書として表現されることとなります。受講生同士の絆もさらに深まり、それぞれがお互いを意識しながら前進してくる第19期経営指針成文化セミナーです。第9講は2月8日（金）に土浦市の県南生涯学習センターにて最後の講座が行われます。



2019年新春賀詞交歓会

2019年1月24日（木）水戸京成ホテルにて

記念講演講師◇鈴木 尚広氏

読売ジャイアンツ一軍外野守備走塁コーチ

『巨大組織の中で磨いた「個」』

第1部：記念講演 18:00～19:40

第2部：賀詞交歓会 19:50～21:15

参加費：会員6,000円 ゲスト7,000円

定員：150名 ※定員になり次第受付終了とさせていただきます。

お申し込みはお済みですか？

皆様のご参加をお待ちしております！！



11月の例会報告

日立支部

11月14日(水) 日立シビックセンターにて
『出会いと仕事の中で見えた中小企業が行う情報発信の必要性
～発信すること・前に進み続けること』
報告者:高貴 修さん (株)ITS 代表取締役



日立支部11月例会は(株)ITS代表取締役の高貴修さんを報告者に迎え、8月例会から続いた水戸支部会員報告のトリを務めていただきました。
中小企業の情報発信の重要性を、高貴さん自身の経験や人生哲学と重ねながらお話しいただきました。まずは自社を知り、発信する目的、受け取る側を意識して自社の価値や存在をどう認知してもらうかが大切で、中小企業だからこそ、「想いを発信する」ことがとても重要なのだと改めて教えていただき、グループ討論でその学びを深め合いました。失敗を恐れず、常に行動することを肝に銘じる例会となりました。
(レポート:斎藤 智一さん)

県央海浜支部

11月20日(火) ワークプラザ勝田にて
『散策? 迷子? 徘徊? 今どこ歩いているの?』
『経営者の自社分析～課題の確認で現状打破!!』



県央海浜支部11月例会は、『経営者の自己分析』というタイトルで開催しました。STEP1企業変革支援プログラムを行い、前半は参加者全員で一つひとつの課題を自己分析し、パソコンでe.doyuに入力しました。分析結果はすぐにレーダーチャートに反映され、過去の自社や全国平均との比較ができ、自社の成熟度が確認できました。後半は分析結果を元に、これから取り組むべき課題を重要性、緊急性、実践容易性と各自ピックアップして経営者自らが認識し、どのように取り組むかをグループ討論しました。日常業務ではなかなか認識しづらい自社の成熟度を分るきかけとなり、浮き彫りになった課題を「実践しよう」と多くの参加者から聞くことができました。
(レポート:松本 拓馬さん)

南西支部

11月22日(木) 茨城県県南生涯学習センターにて
『経営指針を作ってみてきたもの』
～ビジョンこそが会社の経営指針と発展を支えるエンジンとなる!』
報告者:永岡 誠司さん (有)エターナルコーポレーション 代表取締役



11月の南西支部の例会報告は、経営指針委員長のエターナルコーポレーションの永岡さん。例会のお題は指針委員長らしい「経営指針を作ってみてきたもの」～ビジョンこそが会社の経営指針と発展を支えるエンジンとなる～でした。しっかりと作りこまれたプレゼン資料で、創業から現在までを軽快に語って頂きました。持ち前の明るさで、数々の難題や立ちちはだかる壁をぶち破って進んでこられたたくましさに感動しました。中古販売業に様々なアイデアを駆使して事業を成り立たせていく事業家魂、そして遊び心を忘れないお茶目なところに引き込まれていきました。経営の中心に「愉しさ」を置き「オートリゾット構想」の実現をビジョンに掲げ着々と会社を運営していくセンスの良さを感じました。趣味の野球を通して社会貢献も行い仕事との両立を図るバランス感覚も素晴らしいと思いました。
グループ討論のテーマは「ビジョン達成の為に、今、何をしていますか?」には、活発な討論がなされビジョンの達成に向けて参加者の皆さんが今年一年頑張ってきたことが垣間見えたグループ討論になりました。参加者が多くとても盛況で南西支部今年最後の例会として学びの多い例会となりました。
(レポート:須藤 利明さん)

【同友会理念】

同友会3つの目的「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」この目的実現に向けて「地域社会と共に歩む」中小企業の自覚をもち「自主・民主・連帯」の精神で企業経営と会運営を行うことです。

県西支部

11月27日(火) 坂東市商工会館にて
～バンク社労士が伝授する～
働き方改革って何?何をしなくちゃいけないの?
就業規則って何?知らない怖い制度や仕組みについて Part2
講師:斉藤 輝之さん サイトー社労士事務所 所長



県西支部11月例会は、好評を博した9月例会に引き続き、県西支部会員社会保険労務士の斉藤先生から「働き方改革って何?何をしなくちゃいけないの?就業規則って何?知らない怖い制度や仕組みについてPart2」として、実際の就業規則を見本にしながら、「働き方改革」の制度と照らし合わせるところを見直さなければならないか、ドラゴン支部の社会保険労務士である大野順市先生にもフォローしていただきながら、質疑応答を交えて学び合いました。当日は社労士の先生その他、弁護士の先生にも参加いただき、法律家として違った角度からの労務管理への指摘もあり、有意義なディスカッションとなりました。働き方改革という制度の内容はもちろんのこと、なぜ就業規則が必要なのかを気づかされると共に、中小企業だからこそ労務管理を徹底することの重要性・きちんとした問題意識を持つことを改めて考えさせられる例会となりました。
(レポート:野口 和明さん)

ドラゴン支部

11月8日(木) 鮫・匂の味 弥七にて
『テニススクールがISO取得を目指す理由』
報告者:末満 裕之さん T1インドアテニススクール 代表兼コーチ



ドラゴン支部11月例会は、つくば市で「T-1インドアテニススクール」を運営する末満裕之さんのご報告でした。
知人の死をきっかけに「やりたいことをやろう」と、学生時代に夢中で取り組んでいたテニスを仕事に選んだ末満さん。持ち前の体力で必死に働き、いくつかのスクールでコーチを経験した後、晴れてインドアテニススクールを開業。天候に左右されないインドア型のスクールができる物件を探し出し開業に至るまでには大変苦労をされました。
現在の末満さんが本気で取り組んでいるのは「ISO」の取得。業界団体の集まりで偶然知ったISOでしたが、調べていくうちに「これだ!」と確信し、スタッフも巻き込みながら「褒めることを大切にしたいコーチング」でISO品質を目指しています。そこにはお客様とのコミュニケーションのみならず、「褒める」ことによるスタッフの成長づくりや働きやすい職場づくりという成果がありました。
(レポート:青木 恵之さん)

第46回青年経営者全国交流会が沖縄にて開催されました!

11月29日～30日に第46回青年経営者全国交流会が沖縄県那覇市のロワジュールホテルをメイン会場に開催されました。昨年の茨城青全交から1年が経過し、恩送りの意味も込めて、茨城同友会からも総勢28名の参加がありました。
第1分科会には茨城同友会から八巻大介さんがコーディネーターとして、そして青木恵之さんがパネリストとして登壇し、青年部活動と企業経営は不離一体をテーマにパネルディスカッションを行い、グループ討論で学びを深めあいました。その後行われた交流会も盛会の中終了し、翌日の全体会では新たな学びを得て、自社での実践を誓いながら沖縄の地を後にしました。

